

全国瞬時警報システム（Jアラート）が発信された場合の対応について

平成29年10月策定
平成30年 4月改訂
輪之内町教育委員会

◆Jアラート発信時

登校前	・登校せずに、 自宅で待機する。
登下校中	・自宅、学校、近隣の 建物の中などに避難する。 ・近くに建物がない場合、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
登校後	・学校職員の指示に従う。

◆行政（国・県・町 以下同じ）からの情報で安全確認ができた場合（弾道ミサイルが「日本の領土・領海の上空を通過した」「日本の領海外の海域に落下した」場合、および「日本の領土・領海内に落下した可能性がある」との情報伝達後の続報により、屋内避難を解除するような情報伝達があった場合。）

登校前	・午前6時までに（6時を含む）安全確認ができた場合は、 通常通り登校する。 ・午前6時から8時までに（8時を含む）安全確認ができた場合は、 確認後2時間以内に登校する。 ・午前11時までに（11時を含む）安全確認ができた場合は、 午後1時半までに登校する。 ・午前11時を過ぎてから安全確認ができた場合は、 臨時休業とする。
登下校中	・行政からの放送等で安全確認ができてから、登校中であれば学校へ、下校中であれば自宅へ行く。登校時間については、上記「登校前」と同じ。
登校後	・学校職員の指示に従う。

※基本的には、時間的経過については「気象警報等の発表時における休業及び登下校について（平成26年10月改訂）」の対応と同じであるが、下線部については、児童生徒の安全を最優先し、柔軟に対応すること。

◆何らかの被害がおよんでいる場合（弾道ミサイルが「日本の領土・領海の上空で爆発した」「日本の領土・領海に着弾した」場合など）

登校前	・行政からの指示、保護者の判断に従って行動する。
登下校中	・行政からの指示に従って行動する。急を要する状況では、口と鼻をハンカチで覆い、その場から離れ、密閉性の高い屋内、又は風上に避難する。
登校後	・学校職員の指示に従う。

※ミサイル着弾の有無、着弾場所、弾頭の種類などにより、被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を収集すること。

※特別な場合（始業時刻を遅らせる・臨時休校にするなど）は、学校から**保護者配信メール**を配信するなどして、児童生徒（園児）および保護者の混乱を避ける。ただし、通信・情報機器の機能停止を狙う「電磁パルス攻撃」等を受けた場合、配信不能になることもある。

※弾道ミサイル落下時の行動の詳細については、

「内閣官房 国民保護ポータルサイト（<http://www.kokuminhogo.go.jp/>）」を参照する。

※ミサイル落下時の政府の対応状況は、

「首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp/）」

全国瞬時警報システム（Jアラート）による緊急情報が発せられた時の対応について

●弾道ミサイル発射に係る基本的な対応について

		弾道ミサイル発射		
弾道ミサイルの行方		①日本の領土、領海に落下（着弾）の可能性	②日本の領土、領海の上空を通過	③日本の領海外の海域に落下（着弾）
Jアラートのメッセージ		「ミサイル発射。ミサイルが発射された模様。建物の中、又は地下に避難してください。」	同左	同左
(1) 登校前		自宅待機。窓から離れるか、窓のない部屋に移動。	同左	同左
(2) 登校中		建物の中へ避難。	同左	同左
(3) 校 内		机などの下に入り身の安全を守る。	同左	同左
(4) 放課後		活動を打ち切り、建物の中へ避難。	同左	同左
(5) 下校中		建物の中へ避難。	同左	同左
(6) 自 宅		窓から離れるか、窓のない部屋に移動。	同左	同左
Jアラートのメッセージ ・直ちに避難することの呼びかけ ・通過の情報 ・落下場所等の情報		直ちに避難することの呼びかけ 「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。」	通過の情報 「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、 ■ 地方から ▲ へ通過した模様です。不審な物を発見した場合は、決して近寄らず、直ちに警察や消防に連絡してください。」	落下場所等の情報 「先程のミサイルは、○ ○ 海に落下した模様です。不審な物を発見した場合は、決して近寄らず、直ちに警察や消防に連絡してください。」
Jアラート		「ミサイル落下。ミサイル落下。○ ○ 地方に落下した可能性があります。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。」	/	/
備 考	登校又は下校の場合	<ul style="list-style-type: none"> 被害状況等にもよるが、安全が確認されれば登校中又は下校中の児童生徒は、学校又は自宅のどちらか近い方へ行く。 近くにミサイルが落下した場合は、口と鼻をハンカチで覆いその場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内、又は風上へ避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全が確認されれば登校中であれば学校へ、下校中であれば自宅へ行く。 	同左
	屋内の場合	<ul style="list-style-type: none"> 換気扇を止め、窓を閉める。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全が確認された後、授業や活動を再開する。 	同左



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、**落ち着いて行動してください。**



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート (例)直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

**近くの建物の中か
地下に避難。**

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

**物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。**

屋内に
いる場合

**窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。**

**近くに
ミサイル
落下!**

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。